

4 段階評価	4 期待以上	3 ほぼ期待どおり	2 やや期待を下回る	1 改善を要する
--------	--------	-----------	------------	----------

学校経営 ビジョン	『子どもたちが安心して生き生き学び、のびのび活動する、魅力ある教育の構築』 家庭や地域からの協働の力に支えられ、醸成された教師集団の下、児童の活力ある学習を保障した、より質の高い教育を提供する。
--------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	結果の考察・分析および改善策等	自己 評価	関係者 評価	学校関係者評価のコメント	
知 育	<b>重点目標</b> <b>知の基盤づくり</b> (確かな学力の育成)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「学校が好き」「知的好奇心が旺盛」「将来の夢がある」等の「学びたい度」の全校平均は 93%である。(昨年度 90%)</li> <li>・ 全国・みやぎき学力調査の過去問やアシストシートを活用して、つまずきやすい問題について、解き方や説明、解説を行うことができた。</li> <li>・ 宅習展示を通して児童が互いのノートを見ることで自分の取組を見直し、意欲的に家庭学習に取り組む児童が増えてきている。今後も引き続き質の向上を図るとともに、課題に取り組ませるための手立てを工夫していく。</li> </ul>	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもたちが元気に学校に通っていてとても素晴らしい。</li> <li>○ 素晴らしい取組がされている。</li> <li>○ タブレット PC 活用はよくできている。</li> <li>○ タブレット PC 活用は続けてほしいが、書く経験も大事と思う。</li> <li>○ 今は <math>A+B=( )</math> のように答えだけを求めるのではなく、文章を読み取って答えるようになり、出題形式が昔と随分変わっている。入試問題も同様である。先生たちは教えるのが大変ではないだろうか。</li> <li>○ かけ算九九などは定着させてほしい。</li> <li>○ 子ども同士の教え合いで、とても上手に教えている子がいる。異学年での教え合いで、とても良い場面がある。</li> </ul>	
	<b>手段</b> 1 基本的な学習態度の構築と学びたい度が向上する授業の工夫改善 2 知識・技能の確実な定着とそれらを活用した課題解決する力の向上 3 言語能力の育成					<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タブレット PC の持ち帰りを段階的に実施し、3 年生以上は家庭に持ち帰る体制が構築できている。ドリル等の宿題にも活用が図られている。</li> <li>・ 鉛筆の正しい持ち方定着度は約 86%である。今後も根気強く指導を継続していきたい。</li> </ul>
						<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家庭読書については、一定の効果が確認されたが、家庭での読書量を増やすための工夫を今後も行っていきたい。</li> <li>・ 毎月の読み聞かせを計画通り実施できた。児童は毎回楽しくボランティア・中学生・校長による読み聞かせに楽しく参加できた。</li> <li>・ 学校図書館協力員と連携し、児童の興味関心を高めるような図書室設営、企画を行うとともに、学習センターとしての機能を高めるための工夫を行った。授業でも活用する場面が増えてきている。</li> </ul>

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	結果の考察・分析および改善策等	自己 評価	関係者 評価	学校関係者評価のコメント
徳 育	<p>重点目標 <b>徳の基盤づくり</b> (豊かな心の育成)</p> <p>手段 1 基本的な生活習慣の定着、思いやりの心の育成</p> <p>2 望ましい人間関係の醸成</p> <p>3 活力ある地域の人材としての児童の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 朝の登校班への指導や児童会の活動等を通して、気持ちのよいあいさつをしようとする雰囲気作りを行っている。自分から進んで気持ちのよいあいさつができる児童が増えてきている。今後も地域でも気持ちのよいあいさつができるよう、継続して指導を行っていきたい。</li> <li>・ 4～6年生を対象に、警察署と連携してスマートフォンやゲーム機器によるネットトラブルに関する授業を行った。今後も生活習慣の改善を含めて学級懇談会等で啓発を図っていく。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎月のスマイル委員会(いじめ不登校対策委員会)で、早期発見、早期解決を心がけてきた。不登校につながるような大きなトラブルは発生していないが、今後もきめ細かな観察を継続し、生徒指導主事を中心としたチームとしての対応を行っていく。</li> <li>・ 関係機関との連携により、保護者の願いや思いを把握し、児童の支援に生かすことができている。</li> <li>・ 3校合同の研究を通して、「考え、議論する」道徳の授業を継続してきたことにより、職員の意識高揚を図るとともに、校内の環境整備を進め、11月の研究公開を盛会に終えることができた。</li> <li>・ ピア・サポートとして、参観日での全学級参観授業、音楽大会や陸上大会時のメッセージなど、温かな学校づくりについて児童の理解を深める取組を行った。今後もピア・サポートの考えを生かした授業実践を進めていく。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童総会を踏まえ、子どもが自治活動を実践する場を確保している。気持ちのよいあいさつができる児童が増えるなど、活動の成果が少しずつ表れてきている。</li> <li>・ 米作りでは、JA青年部やPTAの協力の下、充実した活動ができた。他学年においても総合的な学習の時間等で講話を依頼するなど、地域と連携した取組を行うことができている。</li> <li>・ 今年度は、西小林地域の素材を生かした活動に加え、戦災体験者である木佐貫ヒサエ氏を講師に招いた慰霊集会を計画・実施した。子どもたちは、同じ地域に住む木佐貫氏の戦災体験談に真剣に耳を傾けていた。実体験に基づいた話を直接聞く貴重な時間となった。平和のバトンが確かにつながる取組となった。</li> <li>・ 各学年の教科の学習で利用する図書を整理することにより、学習センターとしての機能を高めることができている。授業での図書室の利用が図られている。</li> </ul>	3	3 (3.5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ あいさつ(会釈)ができる子どもたちが育ってきている。</li> <li>○ スマートフォンやタブレットなどは正しい使い方ができるように、家庭とも連携して指導していくことが大切。</li> <li>○ 4年生福祉体験授業や仙若さん公演など、子どもたちが公の場面でよく出ていく。活発で物怖じしない。表現力が高い。昔はここまでできなかった。大変素晴らしい。</li> <li>○ 研究公開は多くの参観者が来ていた。素晴らしいこと。</li> <li>○ 自転車の乗り方で横に並んで走るのは危険。平日の夕方や休日に見かけることがある。学校での指導の徹底をお願いしたい。</li> </ul>

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	結果の考察・分析および改善策等	自己 評価	関係者 評価	学校関係者評価のコメント
体 育	重点目標 <b>体の基盤づくり</b> (健やかな身体の育成)  手段 1 体力の向上  2 健康的な望ましい生活習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月に実施した体力テストでは、体力合計得点が男女共に県平均を上回っている。改善が必要な反復横跳びについては、11月に再調査を行い、強化を図った。すべての学年で記録の伸びが確認された。主運動につながる補助的な動きを繰り返し行うなど、体の使い方や動かし方についても継続して行うことにより、記録向上が見られることを再確認した。今後も、全教育活動を通して体力の向上に努めたい。</li> <li>春季大運動会は、学年部ごとに表現、リレーを選択して行い、午前中開催でも幅広い種目が行えるよう設定した。地域に開かれた学校づくりの観点から、今後も開催や実施の在り方についてPTAを交えて検討を行っていく。</li> </ul>	3	3 (3.5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>立派な取組をしている。</li> <li>子どもたちが元気に遊ぶ姿をよく見ている。</li> <li>陸上大会や駅伝大会などでも、西小林小の子どもたちが活躍している姿を知って嬉しい。</li> <li>運動会は毎年楽しみにしている。</li> <li>寒くても、雨でも、しっかり歩いて登校している子どもたちがいて素晴らしい。</li> <li>むし歯治療については、保護者への啓発をしっかりしていくとよい。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>立腰については、全学年全学級で同じ指導に取り組むことで、一定の効果を上げている。引き続き指導を継続していく。</li> <li>「早寝・早起き・朝ごはん・歩いて登校」の達成率80%、衛生的な手洗い・マスク着用85%、むし歯治療率29.4%である。今後も感染予防の習慣が定着できるよう指導を工夫していきたい。</li> <li>フッ化物洗口は、校内で新型コロナウイルス感染症、インフルエンザが流行の兆しを見せた場合は実施を見送ったが、それ以外は計画的に実施できた。</li> </ul>			

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	結果の考察・分析および改善策等	自己 評価	関係者 評価	学校関係者評価のコメント
食 育	重点目標 <b>食の基盤づくり</b> (健やかな身体の育成)  手段 1 将来にわたる望ましい食習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食時間や学級活動を通して、食に関する指導を推進している。今年度も夏休みに「食の贈り物」と題して、家族に食事の準備をするという宿題を課したが、ほとんど全員が提出した。</li> <li>弁当の日を年2回(お別れ集会)計画し、それぞれの家庭でできるコースを選んで実践できている。</li> <li>残食についてはどの学年も、ほとんどゼロになっている。学年による差が多少見られるため、食育指導を更に充実させていきたい。</li> <li>食が細い学年については、給食センターと連携し、事前に量を調整し児童に食べ切る成功体験をもたせるようにした。その結果、徐々に食べる量が増え、今では通常通りの量にして残食ゼロが続くようになってきている。</li> </ul>	3	3 (3.6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食の食べ物の好き嫌いについて、ある程度改善するが、やり過ぎず、強制はしないでほしい。</li> <li>学校では食べるが家では食べない子もいる。</li> <li>弁当の日は良い取組だと思う。作るのを楽しみにしている子もいる。</li> </ul>

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	結果の考察・分析および改善策等	自己 評価	関係者 評価	学校関係者評価のコメント
その他	<p>重点目標 <b>信頼される学校づくり</b></p> <p>手段</p> <p>保護者や地域と協働で子どもを育て、 相互に信頼し合える学級づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 月1回のメンタルヘルスチェックを実施し、職員が相談しやすくかつストレスを開放できる体制を維持・継続することができた。</li> <li>・ 週2日のリフレッシュデーを設け、職員がワークライフバランスを保てる職場の雰囲気を醸成できた。</li> <li>・ 11月の「道徳教育研究指定校」研究公開に向けて、西小林中学校及び幸ヶ丘小学校との連携をより充実させながら道徳教育の研究に取り組むことができた。</li> </ul>	3	3 (3.5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 先生たちがいつも元気でよく挨拶してくれる。素晴らしい学校になっている。</li> <li>○ 先生たちのチームワークが良い。</li> <li>○ 米作り～販売まで子どもたちがよく頑張っていた。もち米がすぐに売り切れていたの、買えなくて残念だった。来年は買えるようになると嬉しい。</li> <li>○ 参観日であれほど多くの保護者が集まっているのを見たことがない。素晴らしい参観日になっている。ぜひ続けてほしい。</li> <li>○ 西小林小学校のことを新聞やテレビなどでよく見るようになった。学校の様子や子どもたちの頑張りを知ることができてとても嬉しいし、誇らしい。これからも楽しみにしている。</li> <li>○ 学校だより「けやき」は毎月とても楽しみにしている。ありがとうございます。</li> <li>○ ある講演で、小学校から地元ではない中学校へ1～3割が進学していると聞いた。今は選択の時代。選択が広がっている分、地域にある学校の意味が問われている。</li> <li>○ PTA 学校役員については、すべてが平等にはできないが、できる人ができることをできる限りやるスタンスで PTA 活動を進めている。誰でもできるものではない。やってくれる人はありがたい。時代の変化に合わせていく面がある。</li> <li>○ 学校の木（けやき）は、道路拡張工事で移動が困難なため、伐採が予想される。今後 PTA や各区長へ確認を取りながら、そのときの PTA 会長が進めるとよい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ にっこばまちづくり協議会による「にっこば茶のん場子ども教室（通称：茶飲ん場）」を毎月第1・3水曜日に実施している。児童は楽しく放課後の時間を過ごし、地域との交流の場になっている。</li> <li>・ これまで PTA のみで行っていた門松作りは、今年度はにっこばまちづくり協議会の協力を得て、茶飲ん場の時間に児童と共に実施できた。</li> <li>・ JA 青年部や PTA 専門部の協力を得て、今年度も5年生、6年生で米作りを計画的に行うことができた。今年度は収穫したもち米を販売する活動を5年生が担当し、販売計画から実際の販売まで体験し、生産から販売まで一連の流れを体験できる貴重な学習となった。今後も収穫の喜びを実感できるような取組を継続していきたい。</li> </ul>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画通り年4回の参観日を実施することができた。</li> <li>・ 授業参観率 85%は達成できたが、学級懇談率 80%は達成できなかった。</li> <li>・ 保護者へ積極的に参観日及び学級懇談の内容を伝えると同時に、魅力ある内容を計画するようにしていきたい。</li> </ul>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校便り「けやき」を毎月発行し、各家庭、各地区およびJA等に配付している。</li> <li>・ 学校ホームページを定期的に更新し、情報発信している。今後は、各種通信等のデジタル化も視野に入れながら、保護者への情報発信の在り方についても検討していきたい。</li> </ul>				

次年度の方向性についての校長所見

本年度はアフターコロナの教育活動として、保護者や地域と連携しながら新たな学校教育活動やPTA活動にチャレンジし、子供達の姿として成果が表れ、子供達の成長を喜び合える一年となった。特に、小林市指定の徳育の研究公開に向けて、職員一丸となって道徳科を中心に全教育活動で、考え・議論できる子供の姿を追い求め、理論・授業研究を重ねたことで、教師の授業力向上と子供達の道徳性の育成に繋がった。今後も明らかになった課題の解決を図りながら、本校の学校経営ビジョンの達成をめざして、工夫・改善を努めたい。

学校関係者評価を受けて、次年度は以下の点において、重点的に取り組んでいきたい。

- 知の基盤づくり（確かな学力の育成）
  - ・ 全国学力・学習状況調査やCRTテスト等の分析結果をもとに、課題とされる思考・表現・判断力を育成するために、ICTを効果的に活用し、指導法の工夫・改善を図りながら、主体的・対話的で深い学びの充実に繋げたい。
  - ・ 読み聞かせや家庭読書など家庭や地域の協力を得ながら、さらなる読書活動の推進を図り、読書習慣の醸成や学力向上を図りたい。
- 徳の基盤づくり（豊かな心の育成）
  - ・ 朝のあいさつやボランティア活動については課題があり、学校や地域全体での活動に繋げる必要があり、今後、中学校区での共通実践事項として地域ぐるみで取り組んでいきたい。
  - ・ 特別支援学級や通常学級における特別な支援を要する児童を支えるための校内支援体制の充実を図り、担任が一人で抱え込まないように全職員での声かけ・見守りを進めていきたい。
- 体・食の基盤づくり（健やかな身体の育成）
  - ・ 体育の時間の運動量の確保や屋休みの外遊びの奨励により、日常的な体力向上や肥満の解消に繋げるとともに、課題とされるむし歯の治療率についても対策を講じたい。
  - ・ 生産者や給食センターとの連携を図りながら、食に感謝する心の醸成や偏食をなくす指導の充実を図りたい。
- その他
  - ・ 西小林小学校創立150周年に向けて、保護者や地域と連携しながら子供達の思い出に残る記念行事にしていきたい。